平成２８年９月２３日

学　校　だ　よ　り

横浜市立高田中学校

10月号（第28－07号）TEL：５９１－４１８３　校長　福田　之男

合唱コンクールへの取組始まる

学級活動の時間になると、校長室へも生徒の合唱の声が聞こえてくる季節がやってきました。１０月１８日（火）に都筑公会堂で実施される合唱コンクールへの取組が今年度も本格的に始まりました。クラスごとに割り振られた練習場所で、パートリーダーを中心にラジカセを囲んで熱心に練習を行っています。練習の声が聞こえてくると、思わず練習の様子を見たくなり、校舎内を歩き、生徒の歌声を聞いています。どのクラスも、合唱コンクールに向けて熱心に練習していることが感じられます。

本校では、体育祭や合唱コンクールなどの学校行事をとおして、生徒一人ひとりが、自分に任された役割をしっかりと果たすことにより、合唱であれば、大きな声になり、美しいハーモニーがつくられるということを体験的に学び、一人ひとりが共通の目標に向かって協力することの大切さを学ぶ機会としています。各クラスが、より美しい合唱を創り上げるために、様々な工夫をしていることと思います。また、発表までの間には、練習がうまくいかなくて、トラブルになったりすることもあると思います。自分たちで練習を工夫をしたり、トラブルを乗り越えたりする経験を積むことにより、一人ひとりの生徒が成長するだけでなく、集団としても成長していくことを期待しています。

職員研修

高田中学校では、生徒一人ひとりが学力の向上を実感でき、価値ある生き方を求めて自己変革していくことを支援する教職員の指導力向上のために研修を行

っています。本年度教職員の研修は、年間 15回計画されています。テーマは、教育課程、生徒指導、生徒理解、特別支援教育、学級活動、人権・道徳、防災など、様々なことをとりあげています。

夏季休業中には、教育課程、道徳教育、総合的な学習、特別支援教育、危機管理などをテーマとして、外部より講師の先生をお招きして実施しました。８月２５日に行われた道徳教育の研修では、元横浜市立中学校長で現在日本大学などで講師として大学生に教職課程を指導している飛田先生をお招きして、道徳の教科化や道徳の授業についての講義をしていただきました。また、本校の宮川教諭を講師として、「個別の指導・支援計画」の作成等についてグループワークを行い、実際に個別の指導計画を作成してみました。同日の午後には、慶應義塾大学福沢諭吉記念文明塾の皆さんを講師として、総合的な学習での環境教育をどのように進めていくかということについて、「Logy and Nomy」というゲームを使用した活動を紹介していただき、実際にそのゲームを体験してみました。この研修を基にして、今後全校で環境教育を実施する予定です。

８月２９日（月）には、生徒指導部が企画した危機管理研修を行いました。この研修は、生徒指導専任が横浜市教育委員会主催の生徒指導専任向け研修会で行った研修を基に計画されました。学年ごとに職員を分け、想定される状況に対して、どのように対応したら良いのかについて討議をしました。各グループ共に想定された状況から、その場における最も適切な対応について、様々な角度から話し合いを行い、最善の対応について一人ひとりの職員が深く考え、大変充実した研修となりました。

今後も年間計画に基づき研修を実施し、教職員の指導力の向上を目指していきます。

ゲームの説明を受け、実際にゲームを行っている様子

９０人会議

９月２日（金）、例年と同様に本校を会場として、高田中学校ブロックにおける小中一貫教育推進を目的として、高田中、高田小、高田東小の３校合同による教職員研修会（９０人会議）が行われました。

今年度は、キャリア教育実践推進ブロックとして２年目を迎え、９月３０日（金）に高田東小学校で横浜市の教職員を対象とする研究授業が予定されているため、最初に全体会を行い、高田中学校ブロックにおけるキャリア教育について再確認し、その後、授業公開される６年生の国語の授業と１年生の授業について、指導案検討をグループに分かれて行いました。

最初の全体会では、公開授業担当校の高田東小より、パワーポイントを使用しながら、キャリア教育を中学校ブロックとしてどのようにとらえているかについて説明がなされ、その後高田中学校、高田小学校、高田東小学校、それぞれが、学校の特色や児童・生徒の発達段階を踏まえ、学校ごとのキャリア教育のとらえについて確認がされました。更に当日の授業についての説明が行われました。また、高田東小学校の館校長先生から、次期学習指導要領とキャリア教育の関連についての話がありました。

授業についての指導案検討では、教科ごとに会場を設定し、各教科３グループに分かれ、検討が行われました。どのグループでも活発に意見交換がなされ、よりよい授業をめざして努力している先生方の熱意が伝わってきました。

高田中学校ブロックとして設定した９年間で育てる子ども像、「主体的に学び、自ら課題を設定し、その課題を克服していける子ども」の育成を目標に、今後も９０人会議などを行いながら、より充実した小中一貫教育をめざしていきたいと考えています。

高田祭スローガンの発表

９月１２日（月）の生徒朝会で今年度の高田祭のスローガンが発表されました。今年度のスローガンは、「**君の声を聞かせて　みんなが英雄の高田祭**」です。このスローガンは、高田祭実行委員会で、「英雄」というキーワードを基に決定されました。このキーワードの「英雄」には、高中生一人ひとりが「いなくてはならない存在」という意味が込められています。高田中学校生徒全員が「英雄」として高田祭に参加してもらうということをめざしています。

現在、幕間の発表を希望する個人や団体のオーディションを実施中です。今年度も昨年同様に、発表者と聴衆が一体となって、素晴らしい高田祭が行われることを期待しています。

オーディションの様子